

地球温暖化の影響

今年は日々の挨拶のなかで「寒い」という言葉を多く耳にします。気象庁の異常気象分析検討会の発表によると、この冬の厳しい寒さと大雪の原因は、余り聞かれない「ラニーニャ現象」という偏西風が蛇行し、寒気が南下しやすかったことに加え、日本の西で冷たいシベリア高気圧が強まつたことなどが原因ということです。これも地球温暖化の影響ではないかと報道されていましたが、地球環境の保全の観点から早急に対策を講じなければならないでしょう。

昨年三月十一日の東日本大震災は、大自然が私たち人間に何かを伝えようとしているように思えてなりません。私たちができることができる条件とは、いくつかあると思います。最も身近なところでは、食べること飲むことです、大地と太陽と空天候不順の肌寒い日が多く各地で桜の開花が一週間以上も遅れたことは周知のとおりです。そ

地球温暖化の影響

の上、最近では今まで経験のない竜巻が発生して、栃木県にも大きな被害をもたらしました。

あきらかに地球規模でくるいが始まっているとしか言いようのない天変地異が次々に私たちの身に迫っていることはあきらかです。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

生きるための条件



母校も一昨年創立五十周年を迎えることになりました。今年創立百三十年を迎える國學院大學の建学の精神が、母校の建学の精神であり、この精神こそが日本人の心とは何かを、そして人間として生きるべき姿を示してくれています。この日本人の心

感謝の心が半世紀に亘り生きづけているということはすばらしいことです。この精神のもと、

与えます。そして当然住む家も着る物も必要です。これらのうち一つが欠けても大変です。

「私たちが生きるために必要な条件を満たしてくれているのは一体なんなのだろう。」と先人たちは考え、そして答えを出します。

『ことばの力』を出版

創立五十周年記念事業の一環として昨年実施いたしました講演会は、聴講者に感動を与えて幕を降ろしました。十一月二十四、二十五、二十六日の三日間母校四十周年記念館において山折哲雄、浜畑賢吉、上田正昭各先生をお招きして三百回のリレー形式で実施しました。共通のテーマは「ことばの力」でしたが、一流の先生方の講演内容は勿論のこと発する言葉にも力が感じられ、成功裡に終了しました。

この講演「ことばの力」は角川文芸出版から一冊の本として市販されています。

尚、同窓会発足五十周年の「祝賀会」は本年十月二十七日(土)に栃木駅前サンプラザを会場に開催する運びとなりましたので、会員の皆様方のご参加を心よりお待ち致しております。

会員の皆様へ

大自然の恵みに感謝

同窓会会长 中磨輝美



者 大学校会
行院高等窓同
(〒 328-8588)
栃木市平井町608番地
電話 0282-22-5511

第35号

の厳しい寒さと大雪の原因は、余り聞かれない「ラニーニャ現象」という偏西風が蛇行し、寒気が南下しやすかつたことに加え、日本の西で冷たいシベリア高気圧が強まつたことなどが原因ということです。これも地球温暖化の影響ではないかと報道されていましたが、地球環境の保全の観点から早急に対策を講じなければならぬでしょう。

母校も一昨年創立五十周年を迎えることになりました。今年創立百三十年を迎える國學院大學の建学の精神が、母校の建学の精神であり、この精神こそが日本人の心とは何かを、そして人間として生きるべき姿を示してくれています。この日本人の心

感謝の心が半世紀に亘り生きづけているということはすばらしいことです。この精神のもと、

明るくさわやかに」を実践された同窓生が各分野で活躍されていることは、誠に頼もしい限りであり、母校の誇れるところでもあります。

先人たちの大切にし

て、「ありがたい」「もったいいな」「おかげさままで」と感謝の真心を捧げました。しかし近年このような感謝の言葉を聞かれなくなつたのも事実であります。

私たちちは先人から受け継いだ日

本人の心を表す感謝の言葉を大事にして、次世代に伝えていく義務があります。そして日本人の心=感謝の心を持った若者を一人でも多く育て、世界に通用する有為な人材を育成する教育を行っていくことが大切ではな

いかと思います。

感謝と敬意を表する次第であります。

た歴代会長を始め、多くの役員の皆様方のご努力に対しまして、感謝と敬意を表する次第であります。

今年度までの卒業生は三三、六五五名を数えるとの報告を受け

ています。同窓会が今日に至るまでの興隆発展に尽力いただい

た歴代会長を始め、多くの役員

の皆様方のご努力に対しまして、感謝と敬意を表する次第であります。

今年度の同窓会も創立五十周年を迎えることとなり、平成二十

三年度までの卒業生は三三、六

五五名を数えるとの報告を受け

ています。同窓会が今日に至る

までの興隆発展に尽力いただい

た歴代会長を始め、多くの役員

の皆様方のご努力に対しまして、感謝と敬意を表する次第であります。

今年度の同窓会も創立五十周年を迎えることとなり、平成二十

三年度までの卒業生は三三、六

五五名を数えるとの報告を受け

ています。同窓会が今日に至る

までの興隆発展に尽力いただい

た歴代会長を始め、多くの役員

の皆様方のご努力に対しまして、感謝と敬意を表する次第であります。

同窓会後援 母校創立五十一周年記念講演会

「ことばの力」

山折哲雄氏

宗教学者。国際日本文化研究センター名誉教授。
国立歴史民俗博物館名譽教授。

平成二十三年十一月二十四日(木)から三日間、「ことばの力」と題した講演会が行われた。これは創立五十一周年を記念し、同窓会の後援によりリレー形式で行われたものである。奈良大学教授の上野誠氏にコーディネーター、「同窓会をお願いし、宗教学者の山折哲雄氏、俳優の浜畑賢吉氏、歴史学者の上田正昭氏をお招きして在校生に向け熱く語っていただきたい。」

「私が生まれ育ったのは、岩手県の花巻というところです。」

実家が宮沢賢治の生家に近かつたことから、賢治の作品に数多く触ってきたという。「宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』、どの物語も風が吹いて始まり、風が吹いて終わるのです。」

この「風」を解く鍵として、賢治の妹・トシの存在に触れ、賢治は自然の中に、亡くなつた妹・トシの魂を感じていたと説く。「死んだ人間の魂に向かって言葉を発する時、それが詩になり、歌になる。力のある言葉になる。それが詩の世界になる。それが賢治の詩の世界

なのだと私は思います。」

話題は東日本大震災へと続く。「今回の震災で、助け合い、絆といったことが語られました。しかし、生き残った者と死んだ者との絆は回復していない。これが現在の大問題である

ときっています。」「どうして自分だけが生き残ったのか。誰にも説明できないこの不条理を生きていくしかない。しかし、『死者の魂は自然の中に鎮まる』ときには死者と生者の絆が回復するのではないか。」

最後に冒頭の宮沢賢治の作品中の「風」について「賢治にとっての風は『死者からのメッセージ』なのではないでしょうか。これは日本人の根底にある宗教的感覚です。」と語った。

浜畑賢吉氏

俳優・演出家。劇団四季の創設に関わる。大阪芸術大学教授。

外來語に興味を持ち、由来を調べた、という話題から講演が始まった。例として「石灰」という言葉を挙げ、そこから川柳、シェイクスピア、クレオパトラと話題が広がっていく。「面白いでしょう?」このように言葉といいいろいろなところに結びついているんです。」

次に生徒に問いかけた。「自分に才能があると思う人は手を挙げてください。」ほとんど手の挙がらない生徒たちに向け、「若い皆さんには、羨ましいぐらい素晴らしいものがあるんですね。自分の可能性を信じて、夢に向かっていってほしいと思いまます。」と熱っぽく語った。

また、演劇というものについても次のように語った。「人間が、『人間を超える何か』と戦う、その戦いが演劇のテーマです。」神の存在・宿命など、人間が絶対に勝てないものに立ち向かっていく。そこから感動が生まれるのだという。そしてこの感動が、「情熱を燃やす燃料となるのです。皆さん、ぜひウキウキ、ワクワクしながら人生を送り、感動し続けていくください。」

この講演の後、母校ミュージカル部の部員に対し、直接指導に当たってくださった。その後、東日

上田正昭氏

歴史学者。京都大学名誉教授。世界人権問題研究センター理事長。その他多くの施設の代表を務める。

私は昭和十九年、國學院大學の専門部に入学しました。し

たがって、私は皆さんにとって広い意味で先輩ということになります。國學院大學では、国文学の武田祐吉氏、言語学の金田一京助氏など錚々たる研究者のもとで学問に励み、特に折口信夫氏の講義を三年間聴き続け、古代への関心を深めたという。

自身の研究については、「アジアの中で日本の歴史や文化の発展を考える。これが私の基本姿勢です。」と語る。アジアと

連動するものとして日本の歴史を考えることの必要性を説いた。

また、いわゆる姿勢です。」と語る。アジアと

この講演の後、母校ミュージカル部の部員に対し、直接指導に当たってくださった。その後、東日

全国の書店で発売!
『ことばの力』
國學院大學栃木学園 白熱講義



今回の講演会が、角川学芸出版より書籍として市販されることになりました。すでに全国の書店にて、定価七八〇円で発売中です。内容は、「講演」「座談会」「生徒の感想文」の三部構成となります。ぜひ一度お手にご覧ください。

本大震災を振り返った。「あの地震があつたとき、すぐに寺田寅彦先生が『日本人の自然観』という論文の中で戒めていたことを思い出しました。自然と調和する知恵、そしてその体験を蓄積して発展してきた日本の学問が、戦後すっかり欧米型になってしまっている、ということで歴史書を紐解けば、貞觀十一年に、今回と同じような三陸沖での大津波があつたことがわかる。にもかかわらず「想定外」とされたのが学問の欧米化の何よりの証拠である、とした。「日本の学問のありようを省み、自然と調和し、共生していくなければなりません。日本にはこの『共生』を『ともうみ』と読む発想があります。共に新しく生まれ出すのです。」

今、想い新たに



小川 廣成
先生

国語科

卒業生の皆さまお元気でお過ごしのことと存じます。

私事で耽溺ではございますが、この三月末日をもって母校國學院大學栃木高等学校を定年退職いたしました。

昭和四十四年四月より四十三年間の長きに亘って大過なく勤めさせていただきましたが、したのも、私の周囲の皆様のご支援、ご協力があつたればこそと深く感謝しております。

さて、振り返って三つのことを記して見たいと思います。ひ

とつ目は私が入学した当時は、校舎は三階建ての本館に、平屋建ての南館一棟と本館の東側に二階建ての部室があるだけの小規模な学校であったこと。それが戦後のベビーブームで生まれた者たちが入学していくという時代の波に乗り、さらに「日本一すばらしい学校にする」との当時の教職員の心の教育が地域

平成二十四年三月をもって退職なされた四名の先生方に、教師生活を終えた想いを語って頂きました。先生方の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

社会に認められ、徐々に大規模校になってきたこと。私が奉職してからも学園内に槌音が響かない年はほとんどなく、この学園の地道な発展を実感することができます。

が

そうした状況の中で私にとって忘れないことがあります。それは昭和五十五年の栃の葉国体に関する事であります。それは県からの要請による「開会式後に集団演技として披露する扇の舞」のことです。演技の練習はいずれも夏の暑い放課後に行われ、緩慢な動きをする女子生徒に対して、奮起を促そうと発したある女性教諭の言葉が彼女達の瘤にさわり、学年だけでなく生徒会やホームルーム委員会を巻き込む形で大きく揺れることになったからです。成績順にふり分けられた生徒たちの怒りをかう言葉となってしまった

もうひとつは平成六年より二代目校長になり、質、学力の向上を目指して特別選抜コースを

普通科に作り、商業科を国際情報科に改組するなど進学体制を明確にしたことです。さらに、

サテライトの導入により、中央の一流講師の講義を居ながらに受講できる体制を整えました。

加えて、進研模試や河合塾などの模擬試験を積極的に取り入れ、結果がでれば職員の研鑽を重ねて反省をしてきた。その結果が

徐々に表われ、国公立大学や難関私立大学への合格者が以前で

は考えられないほどになり、まさに「私学の雄」と言われるまでになり、多くの進学実績を作りました。そのことは大変すばらしいことだと思います。しかし心配しましたが、本番が近づくにつれ彼女たちも落ち着きを取り戻し、真剣な取り組みを見せられるようになりました。そし

て、開会式当日には全員の呼吸がピタリと合い、すばらしいとか華麗だ、見事な演技だと絶賛された形で責任を果たすことができたのです。クラス編成に不満を抱いていた者たちも「やれぱできる」と実感して卒業してくれました。その者たちが卒業して三十年目の昨年「三十年の集いの会」に出席されたことで懐かしく思い出しました。

もうひとつは平成六年より二代目校長になり、質、学力の向上を目指して特別選抜コースを普通科に作り、商業科を国際情報科に改組するなど進学体制を明確にしたことです。さらに、サテライトの導入により、中央の一流講師の講義を居ながらに受講できる体制を整えました。国学院大学栃木高等学校並びに同窓会の益々のご発展とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



内藤 進

外国語科

卒業生の皆様、お久しう振りでございます。お元気でご活躍のことと存じます。

私はこの三月をもって退職いたしました。人生の大半を國学院大學栃木高等学校で過ごせたことを幸福に思い、心から感謝しております。立派な指導者佐々木周二学園長・木村好成校長先生を始め、優秀な先輩・同僚の先生方、そして、素直で気持ちの良い生徒諸君に恵まれて、本当に幸福だったと思っておりま

す。四十二年間の教職人生でしたが、皆様のお陰で、充実した時間を過ごすことができたことを思っております。皆様、本当に色々とお世話になりました。誠に有り難うございました。

さて、次にしなければならないことは、プラス思考で生きる生き方について、一人でも多くの人たちに伝えさせていただくことだと思っています。生きるということがどんなに素晴らしいことかということをお話させて顶く仕事、それが私のライフ・ワークだと考えております。

私は物心ついた頃から、自分は何のために生まれてきたのか、何で死というものがあるのか、と自問していました。こんなこと、周囲の大人に聞く訳にはいかず、まして、友達に聞いても埒が明きません。結局、ひとり悶々とするばかりでした。思春期を迎える頃からは、あまりの苦しみに耐えられず、ついつい己の生命を断ちたいと思う衝動にかられることもしばしばありました。読むものも、太宰治や坂口安吾の作品ばかりでした。

本当に苦しく辛い二十数年間でした。そんな私が、生きよう!!と心の底から思えるようになつたの

は、プラス思考との邂逅によつてでした。三十五歳の時です。それが私の人生のターニング・ポイントになりました。マイナス思考の塊が、プラス思考へ転換し始めたのです。プラス思考の勉強会で教わることの一つひとつに心から感動し、「これは生徒達に伝えなければならない！」と強く思つたものです。あれから三十年間は、自信をもつて教壇に立つことができました。「教育というのは、生き方を教えることである」と教わっていましたので、生き方を克服して感動的に生きよ!! といふものでした。同じ生きのその為には、困難を克服しなければならない。標高七十メートルの錦着山に登るより、富士山に登った方が感動は大きいだろう、感動的に生きたいもの。

でも言えることだし、実生活の中でも言えることだ。困難で辛い事があった時こそ、この問題を乗りこえれば必ず大きな感動がある。だから頑張ろう！ 意欲的に努力し、頑張つてもらいたい。マイナスなんてない。考え方一つで、すべてがプラスなんだ。すべてがプラス・プラス・プラスなんだよ。さあ今日も明るく頑張ろう……。このような話をSHRとして、一日が始まつたものでした。

これから私の残された時間は、プラス思考で生き抜く生き方のお話しをさせて頂こうと思っております。有り難うございました。



須藤 光三
先生

地歴公民科

四十三年間の勤務を終えて、三月に定年退職いたしました。大学を卒業して以来、転職もなく本校だけでの勤務でした。本校だけで高校生を教育する仕事でしたので、「井の中の蛙」という感じはします。しかししながら、四十三年間の中に貴重な経験や思い出が数多くあります。

私が学級の目標は、「困難を克服して感動的に生きよ!!」と教わるプラス思考の勉強会は、私にとりまして、とても役に立ち、為になつたのです。

このからの私の残された時間は、プラス思考で生き抜く生き方のお話しをさせて頂こうと思っております。有り難うございました。

四十三年間の勤務を終えて、三月に定年退職いたしました。大学を卒業して以来、転職もなく本校だけでの勤務でした。本校だけで高校生を教育する仕事でしたので、「井の中の蛙」という感じはします。しかししながら、四十三年間の中に貴重な経験や思い出が数多くあります。

私は学級の目標は、「困難を克服して感動的に生きよ!!」と教わるプラス思考の勉強会は、私にとりまして、とても役に立ち、為になつたのです。

このからの私の残された時間は、プラス思考で生き抜く生き方のお話しをさせて頂こうと思っております。有り難うございました。

四十三年間の勤務を終えて、三月に定年退職いたしました。大学を卒業して以来、転職もなく本校だけでの勤務でした。本校だけで高校生を教育する仕事でしたので、「井の中の蛙」という感じはします。しかししながら、四十三年間の中に貴重な経験や思い出が数多くあります。

私は退職して慣れ親しんできた職場を離れました。そういう意のだと思います。どのクラス会でも卒業生が立派に成長し、それぞれの分野で活躍していることをうれしく思います。

部活動では野球部顧問を十九年間担当しました。毎日の練習、大会での勝ち負けなどいろいろな思い出はありますが、中でも昭和五十四年の秋季県下高校野球大会に優勝したことは、今でも鮮明に思い出されます。監督就任の時は少人数の部員で、弱小チームでしたが、淀綿健一郎部長とともに甲子園出場を目指して猛練習をしました。その結果、三十五回クラス担任をして、そのうち十九回卒業生を送りだ



古澤 三夫
芸術科

果、前述の県大会初優勝となつたのです。それが礎となって、昭和六十年には、念願であった夏の甲子園大会に初出場を果たしました。その頃の部員が中心で話題は卒業期の年代によつて異なります。共通していることは当然のことですが、高校時代の思い出です。担任をはじめ授業を担当していただいた先生のこと、國學院祭や修学旅行などの学校行事のこと、部活動のことなどですが、中でも多く話題にのぼるのは各自の高校時代の行状です。それぞれの失敗談が多く話されますが、同じ級友ということです。それが容認しあつているようです。その中で、さらに仲間意識が強まっていくのだと思います。どのクラス会でも卒業生が立派に成長し、それぞれの分野で活躍していることをうれしく思います。

私は退職して慣れ親しんできた職場を離れました。そういう意味では、三年間の学業を終えて卒業していった卒業生（同窓生）と同じであると思います。母校を離れて今思うことは、教師・生徒が信頼しあい、学校での諸活動（授業・部活動・学校行事等）に真剣に取り組み活気ある学園を形成してほしいと思います。それらの活動の中で人間的に成長した卒業生が輩出されることが期待します。

最後に、國學院大學栃木高等学校のさらなる発展と同窓生の皆様の益々の活躍を祈念いたします。

私は退職して慣れ親しんできた職場を離れました。そういう意味では、三年間の学業を終えて卒業していった卒業生（同窓生）と同じであると思います。母校を離れて今思うことは、教師・生徒が信頼しあい、学校での諸活動（授業・部活動・学校行事等）に真剣に取り組み活気ある学園を形成してほしいと思います。それらの活動の中で人間的に成長した卒業生が輩出されることが期待します。

最後に、國學院大學栃木高等学校のさらなる発展と同窓生の皆様の益々の活躍を祈念いたします。

う大切なことを教えて頂いたと
感謝しています。

三十四年間の教員生活では、

最近、国、内外共にいろいろな出来事が起きています。思い通り前進することは困難だと思いますが、母校の校訓「たくましく直く明るくさわやかに」の気持ちを胸に前進して下さい。私も皆さんと同じように、次の夢に向かって前進しようと考えています。

進学状況

**現役合格率
94.1%、國大合格率**

100%

二〇十二年センタ一試験の志願者は五五万五五三七人で、四年ぶりに前年度より三四七七人減少した。少子化に伴い現役生の志願者が減少したのが原因で

あるとみられるが、高等学校のセンター試験に対する意識は高いままであり、実受験率も九四・四%で前年度より高かった。センター試験の平均点は、理系科目を中心とし、国公立大学の「理系の資格系」の志願者の増加につながったとみられ、

医学・薬学・理学系の増加が顕著となつた。ただし、国公立大学の志願者は全体で九千人減少した。少子化や後期日程を廃止した大学の増加に加え、経済・法学・国際関係学を中心とした文系学部の志願者の減少が大きな原因とみられ、今後も「理高文低」の傾向は続くことが予想される。

埼玉大学にそれぞれ四名ずつ合格するなど、地元近隣の国公立大学に多数の合格者を輩出した。私立大学においても難関校である早稲田大学に九名、慶應義塾大学に一名、上智大学に三名などの合格者をはじめ、GMA・RCH・東京理科大学に五十三名、中堅の日東駒専に三十七名が合格した。

なお、系列の國學院大學には百四十一名、國柄短大には十三名が合格している。

として、筑波大学
に七名、宇都宮大
学に十五名、群馬

平成24年度現浪別合格人數一覽		
合格校	現役	浪人
國學院大學	1	
文學部	32	32
神道文化學部		
法學部	14	14
經濟學部	72	72
人間關學部	21	21
一般入試	1	1
計	140	1 141
(國公立大學)		
東北大學	1	1
北海道大學	1	1
お茶の水女子大學	1	1
筑波大學	7	7
電気通信大學	1	1
埼玉大學	4	4
茨城大學	4	4
都立宮大學	14	1 15
群馬大學	4	4
金沢大學	1	1
信州大學	1	1
新潟大學	4	4
秋田大學	3	3
高知大學	2	2
富山大學	3	3
福島大學	1	1
北見工業大學	6	6
筑波技術大學	1	1
室蘭工業大學	4	4
琉球大學	1	1
高崎經濟大學	3	3
群馬県立女子大學	1	1
都留文科大學	3	3
会津大學	3	3
青森公立大學	2	2
秋田県立大學	1	1
尾道大學	1	1
創価公立大學	12	12
名寄市立大學	1	1
前橋工科大學	3	3
名桜大學	2	2
水産大學校	1	1
防衛大學校	4	4
國公立大學計	100	4 104
(私立大學)		
早稻田大學	5	4
慶應義塾大學	1	1
上智大學	3	3
東京理科大學	6	3
青山學院大學	3	1
駒澤大學	7	2
法政大學	7	4
明治大學	9	2
立教大學	6	6
中央大學	1	2
成蹊大學	2	1
成城大學	2	3
立命館大學	1	1
駒澤大學	6	1
専修大學	5	1
東洋大學	6	2
日本大學	13	3
麻布大學	1	1
北里大學	2	2
埼玉医科大学	1	1
東邦医科大学	2	2
昭和医科大学	1	1
武藏医学大学	4	4
獨協医科大学	1	1
日本歯科大学	1	1
明治薬科大学	1	1
東田塾大学	2	2
東京女子大学	1	1
日本女子大学	3	3
龍谷大学	1	
岩手医科大学	1	1
大妻女子大学	3	3
学習院女子大学	1	1
京都國際医療福祉大学	8	8
芝浦工業大学	2	3
慶應義塾大学	1	1
城西大学	2	2
昭和大学	1	1
大東文化大学	3	1
祐星大学	4	4
東京電機大学	7	2
東京都市大学	3	2
東京農業大学	6	6
獨協大学	12	12
二松學舍大学	1	
文教大学	4	4
武藏大	2	2
明治学院大学	3	3
垂垂亞大学	1	
神奈川大学	1	1
創價女子大学	1	1
東邦大学	1	1
京都橘大学	1	1
共立女子大学	1	1
群馬医療福祉大学	1	
工学院大学	8	8
國士館大学	1	1
駒澤女子大学	1	1
昭和女子大学	3	3
女子農業大学	1	1
女子美術大学	1	1
聖心女子大学	1	1
足立学園音楽大学	1	
大正大学	1	1
五糸川大学	1	1
千葉科学大学	1	1
中央大学学院	1	1
帝京大学	12	12
帝京国際大学	2	2
京成平成大学	4	4
東海大学	15	3
東邦家政大学	4	4
東京家政学院大学	1	1
東京経済大学	2	2
東京工科大学	1	
東京国際大学	1	
東京国際大学	1	
東京純心女子大学	1	
東京情報大学	1	
駒澤音楽大学	1	
日本医療科学大学	1	
日本保健医療大学	2	2
日本薬科大学	3	3
白百合女子大学	19	19
駒澤女子大学	1	1
法政大学	1	
フジワラ女子大学	1	
武蔵医学大学	4	4
目白大学	1	
横浜薬科大学	2	
立正大学	4	4
和洋女子大学	1	
足利工業大学	2	
跡見ヶ丘女子大学	4	4
江戸川大学	1	
奥羽大学	1	
桜美林大学	2	2
神田外語大学	1	
関東学園大学	1	
京都芸術芸術大学	1	
杏林大学	2	2
敬愛大学	2	
健康科学大学	1	
国際武道大学	4	4
子ども教育准仙大学	1	
埼玉工業大学	1	
相模女子大学	2	
作新学院大学	3	3
上智大学	3	
上武大学	4	4
白梅学園大学	1	
駿河台大学	2	
西武文理大学	1	
駒澤大学	1	
高崎健爾医療福祉大学	2	2
千葉工業大学	4	4
高崎健康福祉大学	2	
中京大学	1	
東京福祉大学	2	
東京未来大学	1	
第3英和女子学院大学	1	
日本工業大学	1	
人間科学科大学	2	
日本文化大学	1	
文化学園大学	3	3
平成国際大学	1	
明星大学	6	6
山梨学院大学	2	
酪農学園大学	2	
立命館アジア太平洋大学	1	
流通経済大学	1	
慈恵女子大学	1	
成蹊大学	1	
短期大学計	354	55 409
年制大学計	594	60 654
通學大学志願本邦短期大学		
日本文化学院日語文化教育	1	1
人間育科学院子供心理学		
小学校・幼稚園教養	5	5
幼稚園・保育士教養	3	3
人間育科学院生活健康	4	4
合計	13	13
通學大学志願本邦短期大学		
華陽学院北海道短期大学	1	1
青い学院大学短期大学	2	2
人間開発大学短期大学	1	1
短期大学計	23	23

会費納入者芳名

【平成二十三年度分】

二千六千円 一万円 17千円 4千円 19千円 19千円 19千円 19千円 19千円 18千円 18千円 17千円 17千円 17千円 16千円 16千円 15千円 12千円 11千円 11千円 11千円 10千円 9千円 8千円 7千円 6千円 6千円 5千円 5千円 4千円 3千円 2千円 1千円

19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 18 18 18 18 17 17 17 17 17 17 17 17 16 16 16 16 16 16 15 15 15 15 14 14 13 12 12 11 10 10 10 9 9 9 8 8 8 8 7 6

閑竹宇齋上中渡白大佐渡寺中吉島磯藤橋川福新河古石元生增野荒茂立飯新梅齋小篠熊海飯菊水石山中月閑根田出齊藤館根田出根石津野邊井川々邊内島田村井内崎田井高野河川島澤田川木石塚井沢藤川崎倉野地野原島地野原島中谷野真里子道紀三夜子道紀茂利子政則圭子

ラグビー部・県勢初のベスト8 歴史を塗り替える快挙 花園ラグビー場

平成二十三年十二月二十日から一月七日の日程で開催された、全国高等学校ラグビーフットボール大会で、昨年のベスト十六から、見事な快進撃を見せた。A シードで臨んだ回戦



の浜松工業戦では、猛攻十一トライをあげ六十七対三で大勝。三回戦の深谷戦は苦しい場面もあつたが、追撃をかわし三十一対二十六でベスト八に進出。準々決勝の東海大仰星戦は十二対二十四の僅差で惜敗した。

四月十二日から実施された EAST JAPAN の強化合宿に出井三四郎選手が選出され、全九州高校代表と対戦した。なお、卒業生の田村優選手もラグビー日本代表として活躍している。



関東大会（なぎなた）開かる

▼平成二十四年度関東高等学校なぎなた競技大会が六月九日・十日母校四十周年記念体育館において開催された。競技に先立ち、木村好成理事長から、歓迎の挨拶がなされた。競技は団体試合・個人試合・演技試合とおこなわれ、個人演技の部で中西絢子と竹森泰恵選手がベスト十六入りを達成した。都立富士高等学校が優勝した。

平成二十四年三月十九日、東京都日本武道館で開催された全国高校柔道選手権大会に出場した横山堯世選手が無差別級で優勝に輝いた。

横山選手は二回戦から登場。三回戦こそ技ありでの優勢勝ちだったが、準々決勝、準決勝、決勝と一本勝ちで頂点に立った。

「全國」という大きな舞台でしたのが、緊張することなく落ち着いて試合に臨みました。日本一と

いう目標は達成出来ましたが、この結果に満足せず夏のインターハイでの連覇を目指して頑張ります。」と横山選手は話した。なお、団体戦は、ベスト十六であつた。

六月二十三日に県武道館で行われたインターハイ県予選では、三年連続のアベック優勝を飾った。男子団体決勝は 2-0 と白鷗足利にリードされ、中堅の横山堯世選手もまさかの引き分け

には。副将神尾啓太選手、大将田村優樹選手と小外刈りで勝ち、代表戦では横山選手が同じ相手と二度目の戦いに勝ち、代表戦を制した。



優勝を決めた瞬間

陸上競技部・走幅跳 第二位

山回国体

平成二十三年十月七日から十一日、山口県山口市の維新百年記念公園陸上競技場。須田有加選手は、走幅跳で五メートル八十七という記録を残し、第二位に輝いた。「自己ベストである六メートル八を超えるよう努力します」と次への目標を話した。

男子ハンドボール部・ベスト8

全国高校総体

平成二十三年度全国高等学校総合体育大会が、北東地区の青森・岩手・秋田・宮城県内各地で開催された。本校男子ハンドボール部は、四回戦まで駒を進め、出場三回目にして初のベスト八入りを達成した。

全国高校選手権 男予無差別級で頂点に 優勝

久闊を叙する

30年集いの会

平成二十三年十一月十二日
（土）、十九期卒業生の「卒業三十周年集いの会」が、栃木サンプラザにおいて開催された。

山富夫教頭のほか、同窓会副会長の田村道夫氏を来賓として迎えて開かれた。

松永聰氏の開会の辞により会はスタート。次いで、既に物故者となってしまった同期生の御靈に黙祷を捧げ、その早世を悼んだ。次に、実行委員長の高村

ようこそ先輩！

教養講座開かる

本校では豊かな教養を身につけ、生徒自らが自分の進路や生き方を考える契機となるよう、社会で活躍する企業家・文化人・大学教授らを招いて教養講座を実施している。

生徒と二類選抜αコース三年生の計七〇二名が四十周年記念館に集結した。

この日は本校第十八期卒業生でもあり、現在は株式会社デイトナ・インターナショナル

鹿島氏は『もーと自分を信じてチャレンジしよう。』といふ演題のもと、挫折を繰り返しながらも直感を信じて好きなことをやり通してきた経験を熱く語った。

ル代表取締役CEO・鹿島研氏
を講師として迎えた。会社はL
IFE STYLE CREATE CO
MPANYへと変更。HANAO
PEACE & FREAKS STORE を都
市型ストリート型店舗 HANAO
CAFE & BROOKLYN RO
ASTING COMPANY SH
OPなどを FOOD ビジネス、
AME 輸入商社などを手掛け
てこな。

最後に副実行委員長・石塚巖氏による手締めと、同じく副実行委員長の保土山陽一氏の閉会の辞をもって会は終了した。

満氏による挨拶の後、来賓挨拶、
声楽家・栗飯原俊文氏による独唱、そして松本勉氏による乾杯の発声と続いた。

和やかな雰囲気の歓談の後、
結城紬の草木染織作家の稻葉藤五郎氏の作製の記念品が、来賓・恩師に贈呈された後、全員で校歌を斉唱。



教養講座 鹿島氏



集いの会 懇談の様子

かはし矢波氏
開か Concert Special

六月十六日（土）十五時三十分より本学園教育センターにおいて、東京フィルハーモニー交響楽団フルート奏者・さかはし矢波氏によるSpecial Concertが同窓会後援のもと行われた。

さかはし氏は、本校十八期卒業生で、在学時に栃木県芸術祭において最優秀賞を受賞するな

今回のコンサートでは、第一部でピアノ奏者・太田敬子さん（本校二十六期卒業生）と共に、第二部においては、本校吹奏樂部と共に演じ十曲に及ぶ名曲を演奏した。

ど在学中から華々しい活躍をしていた。現在はフルート奏者としての活動に加えて大学での後進の指導、テレビやラジオのパーソナリティーとして数々の番組に出演するなど、活躍の幅を広げている。



学園橋『新橋』

改築清祓式挙行

学園は一昨年創立五十周年を迎、五十一年目の歴史を新たな気持ちで刻むことの象徴として、短期大学・高等学校の同窓会の賛助により老朽化していた欄干を作り替え、学園橋の改築を行った。

十月四日(火)午後二時より、学園橋改築清祓式が学園本部、教職員参列により厳肅な雰囲気の中で執り行われた。木村好成理事長による玉串奉奠の後、参列者によつて橋の渡り初めが行われた。



銅像『向い風』

この銅像は、一昨年の十一月栃木学園教育センターにおいて同窓会主催の「卒業生作家展」を開催。陶芸・絵画・彫刻・トルペインントなど各分野で芸を極めて高い評価を受けている卒業生の作品を展示し、多くの来館者を魅了した作品の一つである。



改築清祓式の様子

平成 24 年度 同窓会一般会計収支予算

収入の部

項目	予算額	前年度予算額	比較増△減額	備考
前年度繰越金	709,216	3,336,698		
会費				
入会金(本年度卒業生)	1,040,000	900,000	140,000	2,000×520名
30年会費(本年度卒業生)	13,000,000	11,250,000	1,750,000	25,000×520名
30年会費(既卒者)	1,000,000	1,000,000	0	20,000×50名
年会費(既卒者)	100,000	100,000	0	2,000×50名
基金会计より繰り入れ	5,500,000	10,000,000	△ 4,500,000	
雑収入	784	3,302		銀行利子
合計	21,350,000	26,590,000		

支出の部

項目	予算額	前年度予算額	比較増△減額	備考
運営費				
印刷費	100,000	100,000	0	
通信運搬費	2,500,000	2,500,000	0	会報発送、振込料等
機器備品費	300,000	300,000	0	
消耗品費	100,000	100,000	0	
会議費	300,000	300,000	0	幹事会、本部役員会
事業費(1)				
会報出版費	1,200,000	1,200,000	0	
名簿作成費	150,000	150,000	0	
事業費(2)				
学園助成費	3,000,000	3,000,000	0	
30年集いの会助成費	350,000	350,000	0	
梅津杯助成費	300,000	300,000	0	
クラス会助成費	300,000	300,000	0	10,000×30 クラス
補助費	800,000	300,000	500,000	国学院祭、幼稚園助成等
記念品費	2,500,000	2,500,000	0	卒業生記念品等
涉外費	300,000	300,000	0	なまず後援会等
広告費	200,000	200,000	0	ラグビー全国大会等
福利厚生費	200,000	200,000	0	
慶弔費				
弔慰金	100,000	100,000	0	
見舞金	20,000	20,000	0	
通信費	5,000	5,000	0	
積立金				
基金会计繰入金	2,000,000	2,000,000	0	
部活動後援積立金	500,000	500,000	0	
同窓会 50 周年記念積立金	0	500,000	△ 500,000	
母校創立 50 周年協賛事業	5,500,000	10,000,000	△ 4,500,000	ことばの力、銅像台座
予備費	500,000	1,000,000	△ 500,000	
次年度繰越金	125,000	365,000	△ 240,000	
合計	21,350,000	26,590,000	△ 5,240,000	

平成 23 年度同窓会一般会計収支決算

収入の部

項目	決算額	予算額	比較増△減額	備考
前年度繰越金	3,336,698	3,336,698	0	
会費				
入会金(本年度卒業生)	912,000	900,000	12,000	2,000×456名
30年会費(本年度卒業生)	11,400,000	11,250,000	150,000	25,000×456名
30年会費(既卒者)	740,000	1,000,000	△ 260,000	
年会費(既卒者)	148,000	100,000	48,000	
基金会计より繰り入れ	10,000,000	10,000,000	0	
雑収入	10,775	3,302	7,473	銀行利子
合計	26,547,473	26,590,000	△ 42,527	

支出の部

項目	決算額	予算額	比較増△減額	備考
運営費				
印刷費	0	100,000	△ 100,000	
通信運搬費	2,280,599	2,500,000	△ 219,401	会報発送、振込料等
機器備品費	184,960	300,000	△ 115,040	
消耗品費	141,670	100,000	41,670	
会議費	267,700	300,000	△ 32,300	幹事会、本部役員会
事業費(1)				
会報出版費	1,044,172	1,200,000	△ 155,828	
名簿作成費	239,210	150,000	89,210	
事業費(2)				
学園助成費	3,000,000	3,000,000	0	
30年集いの会助成費	350,000	350,000	0	
梅津杯助成費	300,000	300,000	0	
クラス会助成費	240,000	300,000	△ 60,000	10,000×24 クラス
補助費	547,279	300,000	247,279	国学院祭、テレビCM等
記念品費	2,270,780	2,500,000	△ 229,220	卒業生記念品等
涉外費	224,091	300,000	△ 75,909	なまず後援会等
広告費	156,000	200,000	△ 44,000	ラグビー全国大会等
福利厚生費	105,849	200,000	△ 94,151	
慶弔費	87,025	100,000	△ 12,975	
見舞金	0	20,000	△ 20,000	
通信費	0	5,000	△ 5,000	
基金会计繰入金	2,000,000	2,000,000	0	
部活動後援積立金	500,000	500,000	0	
同窓会 50 周年記念積立金	500,000	500,000	0	
母校創立 50 周年協賛事業	10,558,922	10,000,000	558,922	銅像、新橋、講演会
予備費	840,000	1,000,000	△ 160,000	ラグビー・栃木TV放映料
次年度繰越金・予備費	709,216	365,000	344,216	
合計	26,547,473	26,590,000	△ 42,527	



集中力を高めて

「中学校では「たくましく直く明るくさわやかに」の校訓のもと、「学力と人間力」の育成を目指し、頭・心・体の力をバランスよく鍛える教育を、日々実践している。

確かな学力

今年度から、第一・三・五土曜日に授業を行い、授業時数を最大限確保することで、多くの学習内容をゆとりを持って指導できるようにした。また国語・数学・英語の単元別確認テストで学習到達度を確認したり、一人ひとりの学習状況に合わせて学習度別授業や上位者課外を行なうなど、確かな学力を長期間休暇課外を通して集中的に学習することで、確かな学力を

國 栃 中 ニ ュ ニス

育てている。

人間力の向上

中学生はさまざまな行事を通して、人間力の向上に努めている。六月に赤城・那須甲子・奥日光尾瀬で行われる自然体験学習やホームルームの団結を図るスポーツフェスティバル、仲間と感動を分かち合う九月の國學院祭文化祭・体育祭、日光・鎌倉・奈良を訪ねる十一月の校外学習、二週間一人でホームステイを行う中学三年次のオーストラリア語学研修は代表的なものであるが、さらなるスキルアップを目指し、新たな行事に積極的に取り組んでいる。それは日本の文化を正しく理解したうえで、バランスのとれた国際感覚を養ったり、キャリア教育の一環として行われる行事である。



茶の道に触れる

し方などの学習である。

う貴重な体験もしている。

席における実習を行う。昨年度、生徒たちは初めての体験に緊張しながらも、茶席での所作を一つひとつ確認し、抹茶の香りを楽しんでいた。今年度は一・二年生において、年間七回ほど教室が開かれる。

職場体験

神社奉仕を体験することで、神道の精神や日本人としての在り方を考える行事である。夏休みに中学二年生を対象に行われる。昨年度の実施場所は栃木太平山神社、栃木神明宮、壬生雄琴神社、佐野唐澤山神社、鹿沼今宮神社。体験の内容としては、



壬生雄琴神社にて

総合学習や道徳の時間に茶道教室を実施し、日本人としての基本的な作法・礼法を学ぶ行事である。本校非常勤講師相手恵子先生による茶道の歴史や作法の講義を受けた後、裏千家直門澤田曾翠先生を講師に迎え、茶

の時間は疲れましたが、一日を通してよい経験ができました。古事記の話はとても面白く、宮司さんは僕たちにわかりやすく説いてくれました。特に掃除の時間が疲れましたが、一日を通してよい経験ができました。

最初は簡単だらうと思っていた神社の仕事でしたが、実際に体験してみてすごくたいへんな仕事であることがわかりました。正座がとてもきつかったです。古事記の話はとても面白く、宮司さんは僕たちにわかりやすく説いてくれました。特に掃除の時間が疲れましたが、一日を通してよい経験ができました。

▼茶道教室▲

夏休みに三年生を対象に、宇都宮地方検察庁において行われる行事である。

生徒たちは検察庁の役割や裁判員制度についてのビデオ視聴を通じて、法律遵守の大切さや人を裁くことの重さを学んだり、グループで模擬裁判や量刑を討議したりして、司法について深く考えるよい機会となっている。法廷内を見学するとい

う最初は簡単だらうと思っていた神社の仕事でしたが、実際に体験してみてすごくたいへんな仕事であることがわかりました。正座がとてもきつかったです。古事記の話はとても面白く、宮司さんは僕たちにわかりやすく説いてくれました。特に掃除の時間が疲れましたが、一日を通してよい経験ができました。



活発な討論

▼芸術鑑賞▲

豊かな感性を持った人間形成をするために、情操教育の一環として美術作品や演劇の鑑賞を行っている。今年度は六月二十日(水)に行われ、一年生は国立西洋美術館と国立科学博物館、三年生は江戸東京博物館と国立西洋美術館を見学した。二年生は初の試みとして、国立能楽堂において、能・狂言の古典芸能に触れた。鑑賞会は、解説・能樂の樂しみ・狂言・柿山伏(能・葵の上)というようになべ構成になっており、特に〈解説〉ではより能樂に親しめるようと代表生徒が舞台に上がり、足袋をはいて実際に動いて見せた。生徒たちは、舞台と客席とが一体となつた空間を楽しみながら、日本の伝統文化への理解を深めた。

平成二十四年度の同窓会幹事会総会が五月十二日(土)に学園教育センターにて開催された。議事に先立ち、影立五十周年記念事業である記念講演会が山博校長から、創立五十年記念事業実施され、その内容が書籍として発行されること、また十月には同窓会祝賀会が行われる旨の挨拶がなされた。

同窓会創立五十周年 祝賀会のお知らせ

議事は、第一号議案である平成二十三年度事業報告にはじまり、決算報告及び会計監査報告、第三号議案の平成二十四年度事業計画案、続いて

平成 24 年度 幹事会(総会)開かる

議事は、第一号議案である平成二十三年度事業報告にはじまり、決算報告及び会計監査報告、第三号議案の平成二十四年度事業計画案、続いて

第四号議案平成二十四年度収支予算案と順次すすみ、審議任については十三名の本部役員理事が推薦され、承認された。

第五号議案である新理事委員理事が推薦され、承認されました。

平成二十五年度より普通科グローバルコース新設について祝賀会を開催する予定です。講演会を行い、十一時三十分より栃木駅前の「サンプラザ」で祝賀会を行います。

分より栃木学園教育センターで、現在各界で活躍中の同窓生による講演会を行います。

なお、平成四年より続いてきた国際情報科の募集を停止(平成二十七年廃科)し、高等学校は、普通科一類中高一貫コース・特別選抜Sコース・特別選抜コース・グローバルコース・選抜コース・二類文理コース六コースで再出発することとなりました。



普通科グローバルコース新設 国際情報科募集停止

平成二十五年度より普通科グローバルコースが新設されます。このコースは、これから英語社会に対応した生徒の育成をすべく、次の三つの特徴を柱に据えています。

○ 英語教育の充実

二十五単位を確保し英会話の授業も充実。英語検定二级以上取得を目指す特別課外を実施する。GTECを採用し筆記力を向上させる。

○ 国際理解教育の充実

探究型学習の「国際理解」の実施。大学との連携・交流事業を活かしたキャリア教育・教養

教育を展開していく。

○ 学校行事の充実

イングリッシュ・サマー・キャンプやハワイでの国際研修を実施する。教養講座や講演会も積極的に行い意識の向上を図る。英語によるスピーチコンテストやプレゼンテーションを実施し、表現力を育成する。

早稲田大学、上智大学などの国際・外国語系難関私立大学を目指進学先として出発するので、

平成二十四年度 入試説明会日程		
高等学校		
第一回	十月 二十七日 (土)	
第二回	十一月 十日 (土)	
第三回	十一月 十八日 (日)	
第四回	十一月 二十三日 (金)	
第五回	十一月 二十五日 (日)	
第六回	十二月 二十二日 (土)	
第七回	十二月 二十三日 (日)	

※第一回～第五回 本校キャンパス

▲中学校▼

※第六回、第七回 学園教育センター

平成二十五年度入試日程		
高等学校		
第一回	十二月二日 (日)	単願推奨・適性検査
第二回	一月七日 (月)	併願
第三回	一月二十日 (日)	
		単願・併願

平成二十五年度入試日程		
中学校		
第一回	一月六日 (日)	単願
第二回	一月七日 (月)	併願
第三回	一月三十日 (水)	

カムオオンライン国学院		
高等学校・中学校		
第一回	九月 十六日 (日)	
第二回	十月 十三日 (土)	
第三回	十月 二十八日 (日)	
第四回	十一月 三日 (土)	

▲高等学校▼

第一回～第三回 本校キャンパス

第四回 学園教育センター

※開始時間 午前九時

▼昨年十一月に実施されたリレーライブで、各先生方の話に多くの参加者が感動したことは周知の通りです。その講演会の様子は角川文芸出版から一冊の本となり市販されています。多くの方に購読していただき、高校生との座談会や感想文の中から何かを感じ取ってもらいたいとと思います。